

# 信仰の父

《創世記 12章 1～9節》

1. つぎのしつもんにこたえよう。

- ① 神様はアブラムに、どのような約束をしてくださいましたか？  
きょうのみ言葉を、おぼえながら書いてみよう！

創世記 12章 2節

- ② 神様の約束をきいて、アブラムはどうしましたか？ ○をつけてね。

- ◆ 言われたとおりにした。
- ◆ できないと、あきらめた。

- ③ アブラムは約束の地に着いて、最初に何をしましたか？  
下の文字をなぞりましょう。

神 様 礼 拝  
かみさま への れいはい



2. かんがえてみよう！

- ① アブラムは行き先を知っていましたか？ 【 はい / いいえ 】

- ② 神様はどんな人を喜んでくださいますか？ ○をつけてね。

- |           |            |
|-----------|------------|
| ★ 神様を疑う人  | ★ 神様を信じる人  |
| ★ み言葉に従う人 | ★ 自分でがんばる人 |

《 お祈りしよう！ 》

天のおとうさま。約束のみ言葉をありがとうございます。私も祝福の基になれますように。  
いつでも神様を礼拝し、神様を信じて、み言葉を行うことができるように助けてください。  
イエス様のおなまえによって、お祈りします。アーメン。

# 信仰による義

《創世記

15章1～6節》

1. つぎのしつもんにこたえよう。

- ① アブラムが心配していたことは何ですか？

□からえらんで書いてね。

自分の【 】がいなかったこと。

うし

かね

子ども

ひつじ

- ② 神様は、アブラムの子孫が何のようになると約束されましたか？ ○をつけてね。

★ たったひとつの月

★ 数えきれない星

- ③ 神様はどうしてアブラムを認めたのでしょうか？  
きょうのみ言葉をおぼえながら書いてみよう！

創世記 15章6節

2. かんがえよう！

- ① 神様がアブラムに与えてくださった子どもはだれでしょう？  
下の文字をなぞってね。

イ サ ク



- ② 神様の約束は、そのとおりにになりましたか？ 【 はい / いいえ 】

《 お祈りしよう！ 》

天のおとうさま。私があきらめそうになったとき、なんでもできる神様と約束のみ言葉を思い出すことができますように、そして、いつも神様を信じて従うことができるように助けてください。イエス様のおなまえによって、お祈りします。アーメン。

にゅうわ  
**柔和なイサク**

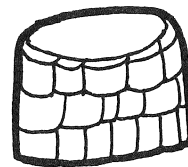
《創世記 26章 12～25節》

1. つぎのしつもんにこたえよう。

① イサクは神様の約束に従いましたか？ 【 はい / いいえ 】

② イサクはいやがらせをうけたとき、どうしましたか？ ○をつけてね。

- ◆ おこ 怒ってあばれた
- ◆ しかえしをした
- ◆ かみさま しん 神様を信じつづけた



③ 神様がイサクに与えてくださった約束は何でしょう？

きょうのみ言葉をおぼえながら書いてみよう！

創世記 26章 24節

2. かんがえよう！

① イサクは約束をいただいて、最初に何をしましたか？ 下の文字をなぞりましょう。

神 様 礼 拝  
 かみさま への れいはい

② それは、父アブラハムの何を受け継いだからでしょう？

右の□からえらんで、○をつけてね。

うし 牛      しんこう 信仰      かね お金  
 ひつじ 羊      とち 土地

《 お祈りしよう！ 》

天のおとうさま。神様に従うなら、すばらしい祝福が与えられることを感謝します。私にも、神様を信じて従う信仰を与えてください。また、いつでも神様を礼拝することを忘れないように守ってください。イエス様のおなまえによって、お祈ります。アーメン。

お  
押しおのけるヤコブ

《創世記 25章 19～34節》

## 1. つぎのしつもんにこたえよう。

- ① 神様はイサクとリベカの子どもに、どんなご計画がありましたか？

きょうのみ言葉をおぼえながら書いてみましょう！

創世記 25章 23節

- ② イサクの家族について、あっているものを線で結びましょう。

ちち 父	☆	★	エサウ
あに 兄	☆	★	ヤコブ
おとうと 弟	☆	★	イサク



- ③ ヤコブがほしかったものは何ですか？ ○をつけてね。

▼ おいしい食べ物

▼ 長子の特権

## 2. かんがえよう！

- ① 神様の祝福はどのように与えられますか？ ○をつけてね。

◆ だますことによって

◆ 神様の恵みによって

- ② なぜ、あなたは教会に来ているのかな？ 正しい言葉をえらんで○をつけてね。

神様【 を ・ に 】えらばれたから。

《 お祈りしよう！ 》

天のおとうさま。私をえらんでくださってありがとうございます。神様が与えてくださった計画や祝福を、いつも感謝して受けとることができるようにしてください。イエス様のおなまえによって、お祈りします。アーメン。

かみ いえ  
神の家

《創世記 28章 10～22節》

1. つぎのしつもんにこたえよう。

- ① 神様はヤコブにどんな約束をしてくださいましたか？

あいている言葉を□からえらんで、番号を書いてね。

1. 守り
2. 約束
3. 捨てない
4. いっしょ

わたしはあなたと【 】にいて  
 どこへ行くにも【 】、この地に連れ帰る。  
 【 】したことを必ず行い、  
 決してあなたを【 】。

- ② ヤコブはそれを聞いて、なんと言ったでしょう？

きょうのみ言葉をおぼえながら書いてみよう！

創世記 28章 16節



- ③ ヤコブは夢を見た場所を何と名づけたかな？ 文字を正しくならべかえましょう。

## ルベテ →

2. かんがえよう！

- ① イエス様はいつもあなたといっしょですか？ 【 はい / いいえ 】
- ② あなたはイエス様を心にお迎えしていますか？ 【 はい / いいえ 】
- ③ あなたは神様のために何をおさげしますか？ 何ができますか？

【 】

《 お祈りしよう！ 》

天のおとうさま。私も聖書から神様のみ言葉を知ることができ、また、イエス様によって、新しく生まれ変わることができることをありがとうございます。いつも神様といっしょに歩む者になしてください。イエス様のおなまえによって、お祈りします。アーメン。

かみ かお  
神の顔

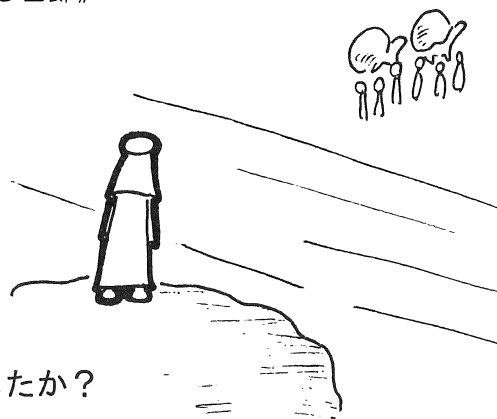
《<sup>そうせいき</sup>創世記 32<sup>しょう</sup>章 22~32<sup>せつ</sup>節》

1. つぎのしつもんにこたえよう。

- ① ヤコブはヤボクの川を渡りましたか？ ○をつけてね。

◆ かそく わた  
家族といっしょに渡った

◆ ひとりだけ<sup>わた</sup>渡らなかった



- ② 神の使いと格闘をしているとき、ヤコブは何といいましたか？

きょうのみ<sup>ことば</sup>言葉をおぼえながら<sup>か</sup>書いてみよう！

そうせいき 32 しょう せつ  
創世記 章 26 節

創世記 32章 26節

- ③ ヤコブにつけられた <sup>あた</sup>新 <sup>な</sup>しい <sup>まえ</sup>名前は <sup>なん</sup>何でしょう？  
<sup>した</sup>下の <sup>も</sup>文字 <sup>じ</sup>を <sup>よ</sup>なぞり、<sup>よ</sup>読み <sup>ま</sup>しょう。

イ ス ラ エ ル

## 2. かんがえよう！

- ① 「やらなきゃよかった」と思うことはありますか？ 【 はい / いいえ 】

- ② あなたはだれによって造りかえていただけるのでしょうか？ ○をつけてね。

## ◆ イスラエル

◆ イエス様

《 お祈りしよう！ 》

天のおとうさま。やらなければよかったと思うようなことをしてごめんなさい。イエス様によ  
って、私も新しくされ、神様に喜ばれる子どもにしてください。神様にも、人にも、素直に  
あやまることができるように助けてください。イエス様のおなまえによって、お祈りします。  
アーメン。

# ヨセフの勝利

《創世記 39章 1～23節》

1. つぎのしつもんにこたえよう。

- ① 奴隷のヨセフが、幸運な人になったのはどうしてでしょう？

【 】に入る文字をなぞり、読みましょう。

主

共

【しゅ】 がヨセフと 【ともに】 おられたから

- ② ヨセフは悪い誘いにあったとき、どうしましたか？ ○をつけてね。

★ はっきり断った

★ やってしまった

- ③ どんな苦しいときでも、ヨセフが祝されたのはどうしてでしょう？  
きょうのみ言葉をおぼえながら書いてみよう！



創世記 39章 23節

2. かんがえよう！

- ① あなたは悪い誘いをうけたことはありますか？ 【 はい / いいえ 】

- ② はっきり断るにはどうしたらよいでしょう？

◆ 自分で勇気をだしてみる

◆ イエス様の愛を思う

◆ 神様に勇気をもらう

《 お祈りしよう！ 》

天のおとうさま。いつも主が共にいてくださることをありがとうございます。悪い誘いをうけたとき、イエス様のことを思い出して、はっきりと断ることができるように助けてください。イエス様のおなまえによって、お祈りします。アーメン。

# せつりしんこう 摂理信仰

《創世記 45章 1～15節》

1. つぎのしつもんにこたえよう。

- ① ヨセフはどうしてエジプトに来たのでしょうか？  
あいている言葉を□からえらんで、番号を書いてうめてね。

【      】たちにねたまれて

【      】として売られたから。

- |    |           |
|----|-----------|
| 1. | どれい<br>奴隷 |
| 2. | あに<br>兄   |
| 3. | ちち<br>父   |

- ② しかし、ヨセフはどのように思っていたでしょう？  
きょうのみ言葉をおぼえながら書いてみよう！

創世記 45章 8節

- ③ ヨセフは兄たちをどのようにしましたか？ ○をつけてね。

★ うらんで、仕返しをした

★ ゆるして、助けてあげた



2. かんがえよう！

- ① 仲間はずれや、いじめられたことはありますか？ 【 はい / いいえ 】
- ② あなたはヨセフのようにゆるすことができますか？ 【 はい / いいえ 】
- ③ 苦しいことの中にも、神様には素晴らしいご計画があると信じますか？  
【 はい / いいえ 】

《 お祈りしよう！ 》

天のおとうさま。イエス様によって、私をゆるしてくださることをありがとうございます。  
いじめる人を救えるように助けてください。また、苦しいことの中にも神様のご計画があることを信じて、期待できますように。イエス様のおなまえによって、お祈りします。アーメン。



# ひとつの若枝 わかえだ 《イザヤ 11章1～5節》

1. つぎのしつもんにこたえよう。

- ① 神様はイザヤを通して、どんな預言を与えてくださいましたか？  
きょうのみ言葉をおぼえながら書いてみよう！

イザヤ 11章1～2節



- ② 「主の霊」について、11章2節を読み、  
あいている言葉をうめてね。

- ◆ 知恵と【 】の霊  
◆ 【 】と【 】の霊  
◆ 【 】を知る知識と【 】を恐れる霊  
( 【 】を知り、恐れ敬う霊 )

2. かんがえよう！

- ① 救い主の預言はそのとおりになりましたか？ 【 はい / いいえ 】  
② 救い主とは、だれのことでしょう？ 下の文字をなぞり、読みましょう。

イエスさま

- ② 救い主を、お迎えする心の準備はできていますか？ 【 はい / いいえ 】

《 お祈りしよう！ 》

天のおとうさま。主の霊にみちた救い主イエス様をありがとうございます。私もイエス様を  
心にお迎えすることができますように。家族や友だちも教会に来て、いっしょにクリスマス  
をお祝いできるようにしてください。イエス様のおなまえによって、お祈りします。アーメン。

## マリアの信仰

《ルカ 1 章 26～38 節》

1. つぎのしつもんにこたえよう。

① マリヤは御使<sup>みつか</sup>いから何<sup>なに</sup>を聞<sup>き</sup>きましたか？ ○をつけてね。★ 女<sup>おんな</sup>の子<sup>こ</sup>を産<sup>う</sup>むこと★ 救<sup>すく</sup>い主<sup>ぬし</sup>を産<sup>う</sup>むこと② 不思議<sup>ふしぎ</sup>に思<sup>おも</sup>ったマリヤに、御使<sup>みつか</sup>いは何<sup>なに</sup>を教<sup>おし</sup>えてくれましたか？【 】に入る文字<sup>は</sup>をなぞり、読<sup>よ</sup>みましょう。

神

【 かみ 】は、なんでも【 できる 】こと。

③ マリヤはそれ<sup>き</sup>を聞<sup>き</sup>いて、どのよう<sup>こた</sup>に答<sup>こた</sup>えましたか？きょうのみ言<sup>ことば</sup>葉<sup>は</sup>をおぼえなが<sup>か</sup>ら書<sup>か</sup>いてみよう！

ルカ 1 章 38 節

2. かんがえよう！

① 神<sup>かみさま</sup>様<sup>さま</sup>のみ言<sup>ことば</sup>葉<sup>は</sup>を信<sup>しん</sup>じることができ<sup>かた</sup>ますか？ 【 はい / いいえ 】② 神<sup>かみさま</sup>様<sup>さま</sup>は、なんでもできるお方<sup>かた</sup>だと信<sup>しん</sup>じていま<sup>か</sup>すか？ 【 はい / いいえ 】③ 神<sup>かみさま</sup>様<sup>さま</sup>のお手<sup>て</sup>伝<sup>つた</sup>いを、どん<sup>たす</sup>なふう<sup>さ</sup>にしたい<sup>い</sup>ですか？  
【 よろこんで / いやいやながら 】《 お祈<sup>いの</sup>りし<sup>てん</sup>よう！ 》

天<sup>てん</sup>のおとうさま。なんでもできる神<sup>かみさま</sup>様<sup>さま</sup>がいつもいっしょにいてくださって、ありがとうございます。  
 神<sup>かみさま</sup>様<sup>さま</sup>のみ言<sup>ことば</sup>葉<sup>は</sup>を心<sup>こころ</sup>から信<sup>しん</sup>じることができるよう<sup>い</sup>に、また、神<sup>かみさま</sup>様<sup>さま</sup>のお手<sup>て</sup>伝<sup>つた</sup>いを喜<sup>よろこ</sup>んでで  
 きるよう<sup>たす</sup>に助<sup>すけ</sup>けてください。イエス様<sup>さま</sup>のおなまえによ<sup>い</sup>って、お祈<sup>いの</sup>りします。アーメン。



# ヨセフの信仰

《マタイ 1章 18～25節》

1. つぎのしつもんにこたえよう。

① ヨセフはどんな人でしたか？ ○をつけてね。

◆ み言葉を<sup>ことば</sup>守る<sup>まも</sup>正しい<sup>ただ</sup>人<sup>ひと</sup>

◆ み言葉を<sup>ことば</sup>守らない<sup>まも</sup>人<sup>ひと</sup>



② 主の使いは夢の中で、ヨセフに何を伝えましたか？  
きょうのみ言葉を<sup>ことば</sup>おぼえながら<sup>な</sup>書いてみよう！

マタイ 1章 23節

③ ヨセフはみ言葉を<sup>ことば</sup>守って、何を<sup>なに</sup>しましたか？ あいている文字を<sup>もじ</sup>をなぞりましょう。

【 マ リ ヤ 】 を妻に<sup>つま</sup>迎えて、

生まれた子には 【 イ エ ス 】 と名づけました。

2. かんがえよう！

① 「インマヌエル」の意味について、あいているところに、  
□ からふさわしい言葉をえらんで書き、読みましょう。

【        】は私<sup>わたし</sup>たちと【        】にいます

1. いっしょ

2. 神<sup>かみ</sup>

3. 友<sup>とも</sup>だち

② イエス様<sup>さま</sup>はいつもあなたといっしょですか？ 【 はい / いいえ 】

《 お祈りしよう！ 》

天のおとうさま。神様<sup>かみさま</sup>のみ言葉を<sup>ことば</sup>聞いたとき、すぐに信じて、そのとおりに行<sup>おこな</sup>うことができるように助けてください。イエス様<sup>さま</sup>のおなまえによって、お祈りします。アーメン。

## ひとり子への信仰

《ヨハネ 3章16～21節》

1. つぎのしつもんにこたえよう。

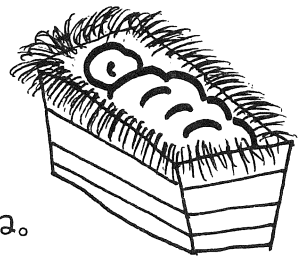
- ① 神様からの最大のプレゼントは何でしょう？

きょうのみ言葉をおぼえながら書いてみよう！

ヨハネ 3章16節

- ② 「ひとり子」とは誰のことでしょう？ 文字をうめてね。

イ ○ ス ○ ま



- ③ イエス様を信じる人、信じない人はどうなりますか？ 線で結んでね。

信じる人 ◇

信じない人 ◇

◆ 滅びない

◆ 滅びる

◆ 永遠の命がもらえる

◆ 永遠の命がもらえない

2. かんがえよう！

- ① きょうのみ言葉の「この世」を、自分の名前にいれかえて読んでみよう！

- ② あなたはイエス様を信じていますか？ 【 はい / いいえ 】

《 お祈りしよう！ 》

天のおとうさま。私のために、大切なひとり子イエス様をプレゼントしてくださってありがとうございます。救い主イエス様を信じるだけで、永遠の命がもらえることを感謝します。今、私はイエス様を信じます。イエス様のおなまえによって、お祈りします。アーメン。

# かんしゃ うた 感謝の歌

《詩篇 100篇1～5節》

## 1. つぎのしつもんにこたえよう。

- ① 神様への礼拝について、きょうのみ言葉を**おぼえ**ながら書いてみよう！

詩篇 100篇4節

- ② 神様は、どんなお方ですか？ 【 】にあてはまる語を、  
□から選んで書きましょう。

◆ 人間【 】造った神様

◆ 神様【 】恵み深い

◆ 神様の愛【 】まことは永遠に変わらない。

は / を / と

- ③ 神様を礼拝する時に、大切なことはなんですか？ ○をつけてね。

★ 喜び

★ 文句

★ 感謝



## 2. かんがえよう！

この2007年、あなたにはどんなことがありましたか？  
神様がしてくださった恵みを思い出して、書いてみましょう。

《 お祈りしよう！ 》  
天のおとうさま。私をここまで守ってくださって、ありがとうございます。たくさんの恵み  
を与えてくださって感謝します。いつも感謝と喜びにあふれた礼拝をささげることができる  
ように助けてください。イエス様のおなまえによって、お祈りします。アーメン。

# ワークB解説 10~12月

10/7

- 質問1 神様はアブラムに、示す地に出て行けという命令だけではなく、祝福の基となるという約束を与えてくださいました。アブラムはそれに従い、行き先も知らないで出て行きました（ヘブル11・8）。神様は約束の地に着いたアブラムに、確信となるみ言葉を与えてくださり（7節）、アブラムはそれに応えて祭壇を築き、礼拝をささげました。
- 質問2 信仰の父と呼ばれるアブラムも、完璧<sup>かんぺき</sup>な人ではありませんでした。しかし、神様を信じて、み言葉に従って行きました。神様から約束のみ言葉をいただいた私たちも、アブラムのように、神様を信じて、従う者とならせていただきましょう。

10/14

- 質問1 神様はアブラムに、約束の地を子孫に与えると約束されました（創世記12章参照）。しかし、<sup>いま</sup>未だに子どもが与えられないアブラムは不安になり、心のうちにある疑問を神様に全て打ち明けます。神様はそれに応えて、彼の子孫は数え切れない星の数になると、さらなる約束を与えてくださいました。また、主を信じたアブラムを義と認めてくださいました。神様がみ言葉を通して、私たちの祈りにも応えてくださるとは、なんと幸いなことでしょう。
- 質問2 真実な神様はアブラムとの約束を成就してくださり、年老いた彼にイサクを与えてくださいました（創世記17、18、21章参照）。私たちも神のみ言葉を実行しようとするとき、苦しいことや、あきらめたくなるようなことがあります。しかし、変わる事のない神のみ言葉に立ち返り、約束を成就してくださる全能の神様を信じて、従っていきましょう。

10/21

- 質問1 神様はアブラハムの子どもイサクにも、約束を与えてくださいました（26章前半参照）。イサクが神様の約束に従うと、多くの祝福が与えられました。人々からはねたまれ、何度も嫌がらせを受けましたが、イサクは全てを支配しておられる神様を信じ続けました。神様は恐れをいだいたであろうイサクに対し、恐れるなど励ましを与え、共におられること、祝福や子孫を増し加えてくださることを約束してくださいました。イサクはなんと心強かったことでしょう。
- 質問2 父アブラムの信仰を受け継いでいたイサクは、約束のみ言葉をいただくとすぐに、神様への礼拝をささげました。私たちも神様を信じて従う信仰を受け継ぎ、そして、家族や友人、知人にも福音を伝える者とならせていただきましょう。

10/28

- 質問1 父ヤコブと母リベカは主に祈り、主に尋ね、主のみ心を求める夫妻でした。主はそのような親に対し、ご自身のご計画を明らかに示してくださいました。そして、約束の通りに、双子の兄弟が与えられました。兄エサウとは異なり、弟ヤコブはどんなことをしてでも、長子の特権を手に入れようとしてしました。
- 質問2 ヤコブは長子の特権、つまり、神の祝福を、人間的方策によって手に入れようとしてしました。しかし、神様は、彼が生まれる前から備えていてくださったのです。私たち一人一人にも、神のご計画があり、祝福が備えられています。そのことを信じ、期待しつつ、神の恵みに生きる者とならせていただきましょう。

11/4

- 質問1 父や兄をだましたヤコブは、家族のもとを離れ、ひとり旅をしなければなりませんでしたが、神様はいつも共にいてくださり、夢の中においても約束のみ言葉を与え、励ましてくださいました。ヤコブはそれを聞き、主の臨在を体験することができました。そして、その記念すべき場所を神の家、天の門と考えて、ベテルと名づけました。
- 質問2 神様との関係は個人的なものです。主はいつも私たちと共にいてくださいます（ヘブル13・5参照）。神様との関係、イエス様との関係を子どもたちと共に再確認しましょう。また、私たちの罪のために死んで、よみがえってくださった主のために、何ができるのか考えてみましょう。

11/11

- 質問1 ヤコブは過去に父や兄をだましたことがあったので、兄エサウに会うことを恐れていました。そのため、家族と一緒にヤボク川を渡ることができませんでした。一人あとに残っていると、神の使いがあらわれ、組打ちとなります。ヤコブは祝福を求めて、ねばり強く格闘し、もものつがいはずされましたが、勝利を得、イスラエルという名をいただくことができました。
- 質問2 「やらなければよかった」と後悔していることがあるならば、正直に、神様に告白し、イエス様の十字架の血潮を仰ぎ、主から赦しをいただきましょう。イエス様によって造り変えていただきましょう。

11/18

- 質問1 ヨセフは奴隷として売られたり、何も悪いことをしていないのに、牢屋に入れられたりしましたが、主が共にいて、栄えさせてくださったので、どこにいても、どのような状況の中にあっても、幸運な人となることができました。ヨセフが誘惑にあったとき、主人を裏切ること、神様に罪を犯すことはできないと強く断り、主人の妻と共にいることさえしませんでした。彼は神様を恐れ、信頼する人でした。
- 質問2 私たちも誘惑にあうことがあります。そんなとき、共にいてくださる主のこと、誘惑に勝利されたイエス様のこと、命を犠牲にしてまでも愛してくださるイエス様の愛を思い出しましょう。そして、断る勇気を神様からいただいて、勝利する者とならせていただきましょう。

11/25

- 質問1 ヨセフがエジプトに来たのは、兄たちに妬まれ、奴隷として売られたからです。兄たちは自分の犯した罪を思い、ヨセフを恐れていましたが、ヨセフは神様の偉大なご計画を悟り、兄たちを赦し、家族全員を飢饉から助けることができました。
- 質問2 仲間はずれや、いじめられることは、とても辛いことです。その子どもたちを赦すことも、とても難しいでしょう。また、苦しいことが起きているときに、神のご計画があると聞いても、信じられないことがあります。しかし、神様が全知全能のお方であり、最善以下をなさらないお方であることを思い出し、神のご計画に期待するものとならせていただきましょう。また、イエス様によってすべての罪を赦していただいたことを覚え、私たちも主にあって赦す者とならせていただきましょう。

12/2

- 質問 1 神様はイザヤを通して、救い主についての預言を与えてくださいました。救い主には主の霊がとどまっており、その霊とは、神のみ心を知る知恵と悟りの霊、神のみ心を知って実行する深慮と才能の霊、そして、主と深い交わりができる主を知る知識と主を恐れる霊です。
- 質問 2 ここで預言されている救い主はイエス様であることを知ると同時に、神様は与えられた預言を必ず成就してくださるお方であることも知しましょう。また、クリスマスに向けて、救い主イエス様を迎える心の準備をし、また、家族や友だちも共にクリスマスをお祝いできるように祈りましょう。

12/9

- 質問 1 マリヤは御使いを通して、主が共におられること、主から恵みを受けていること、そして、救い主を産むという約束をいただきました。マリヤは現実的に不可能であると、そのみ言葉を不思議に思いました。しかし、神様には不可能なことは何もないと、御使いによって教えられ、マリヤは神様への信仰と献身を、告白することができました。
- 質問 2 不可能と思えるようなみ言葉でも、自分にはできないとあきらめることがあっても、神様は何でもできるお方であることを信じ、喜んで神の働きを手伝う者とならせていただきますよう。

12/16

- 質問 1 ヨセフは神のみ言葉を守る正しい人でしたので、身ごもったマリヤのことをとても心配し、これからのことについても悩んでいました。そんなとき、主の使いが夢に現れ、そのことは聖霊によること、また、神のご計画であることを知らされます。神様を第一とする正しいヨセフはみ言葉を信じ、それを忠実に守り、マリヤを妻に迎え、生まれた子どもを「イエス」と名づけました。
- 質問 2 主の使いが告げた「インマヌエル」とは、「神様は私たちと共に（いっしょに）います」という意味です。これはヨセフとマリヤだけでなく、私たちにも約束されていることです。主がいつも共にいてくださることを感謝し、神のみ言葉を聞いたときには、すぐに信じて従うことができるように祈りましょう。

12/23

- 質問 1 神様はひとり子イエス様をプレゼントしてくださるほどに、私たち一人一人を愛してくださいました。そして、イエス様を信じる者に永遠の命が与えられ、滅びに定められることがなく、神様と交わり、共に生きることができるようになるのです。
- 質問 2 神様からのみ言葉を、ただ暗唱するだけではなく、自分に語りかけられているみ言葉として心にとめましょう。「この世」という部分を、自分の名前に入れ替えて読むことによって、神様の愛を深く受け取ることができるでしょう。また、イエス様を信じている子どもは、イエス様への信仰と永遠の命の確信（天国への確信）を再確認しましょう。信じていない子どもに対しては、恐怖心からではなく、心から「信じます」という告白ができるように導きましょう。

12/30

- 質問 1 礼拝をどのような気持ちでささげているでしょうか。神様がどのようなお方であるかを知りましょう。天地創造をされた神様は、人間をも造られ、愛しておられます。神の恵みといつくしみと真実は、とこしえに変わることがありません。神の愛、イエス様の十字架の血潮を覚えつつ、感謝と喜びの礼拝をささげましょう。主はそのような礼拝を喜んでくださいます。
- 質問 2 2007年を振り返り、神の恵みを思い出しましょう。神様が祈りに応えてくださったこと、み言葉を通して教えてくださったこと、神様やイエス様のことが信じられるようになったことなど、神の愛を覚えつつ、様々な恵みを共に分かち合いましょう。